



# 飛躍誓う舞華やかに

金沢を舞台に若手ダンサーが表現力を競う第2回全国バレエコンクール「プリ・ド・カナザワ2017」(北國新聞社主催)は16日、金沢市文化ホールで2日間の日程で開幕し、17都府県の1577人が飛躍を誓い、華やかに舞い踊った。高校3年生以上の出場者は、協力バレエ団と入団交渉する権利を得る「プリ・ド・カナザワ賞」が懸かり、プロへの扉に近づこうと、持てる力を出し切った。

## プリ・ド・カナザワ開幕



## きょう決選、106人進出

4部門で予選が行われ、小学生(4〜6年)で35人、中学生で42人、高校生で16人、シニア(高校卒業〜29歳)で13人の計106人が17日の決選に進出した。石川からは4部門で25人が予選を通過した。

出場者は、規定時間の3分以内で「白鳥の湖」や「ドン・キホーテ」などのクラシックバレエをしなやかに踊った。手足の先まで神経を研ぎ澄ませ、軽やかなジャンプや軸のぶれないターンを華麗に披露し、曲の世界観を表現した。

### 4部門に157人出場

協力バレエ団の谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、バレエシヤンブルウエスト、牧阿佐美バレエ団(五十音順)の指導者や芸術監督ら8人が審査した。それぞれ100点を持ち点に計800点満点で採点し、技術や芸術性を総合的に判断した。

ロビーには予選通過者の番号が掲示された。出場者が自分の番号を見つけたと、「やった」と笑顔をはじかせ、保護者らと抱き合っていた。

17日の決選では、予選と同じ踊りをもう一度披露し、各部門の順位を決める。高校3年とシニアの部の決選進出者から、特に優秀と認められた出場者に「プリ・ド・カナザワ賞」が贈られる。午前10時からで、入場料は1500円となる。

日本バレエ協会(石川県、金沢市)、一般財団法人県芸術文化協会、県洋舞連盟などが後援した。

予選審査の前に練習するダンサー

金沢市文化ホール